

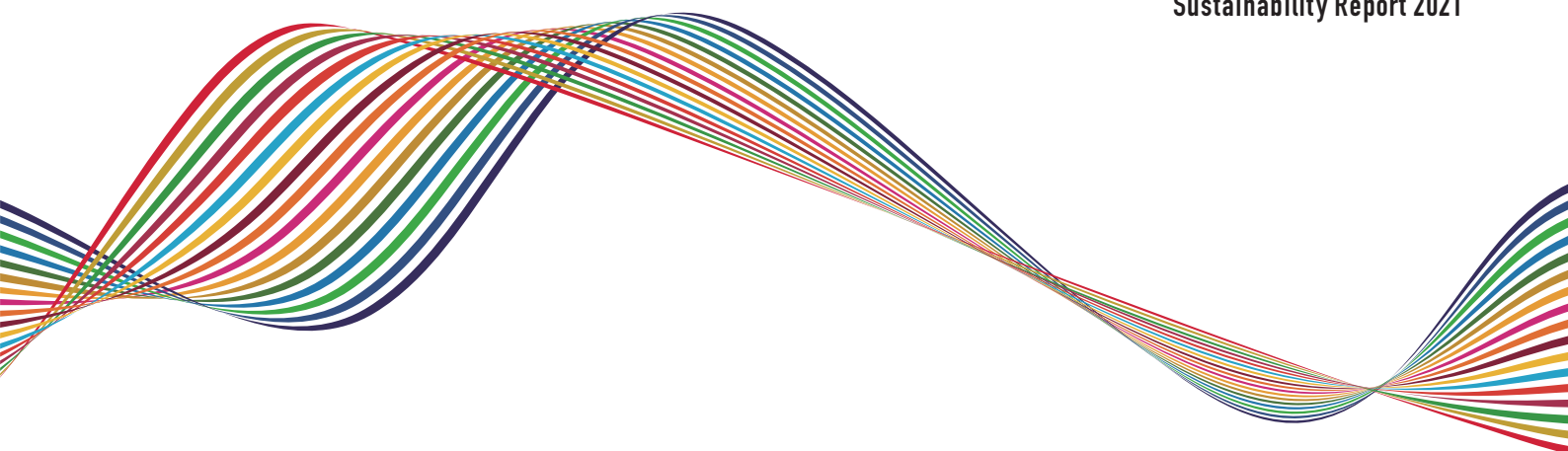


トヨタエンタプライズの サステナビリティ レポート

2022年7月1日

2021

Sustainability Report 2021



株式会社トヨタエンタプライズ

目次

1. はじめに	1
2. 2021年度 of 取組概要	2
3. 2021年度 of 取組事例	3
4. 2022年度以降 of 取組	5
5. 社外有識者レビューコメント	6

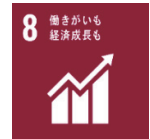
免責事項

株式会社トヨタエンタプライズ(以下、TEP)は、本レポートの記載内容に関して生じた直接的、間接的、派生的、特別の、付随的、あるいは懲罰的損害および利益の喪失については、それが契約、不法行為、無過失責任、あるいはその他の原因に基づき生じたか否かにかかわらず、一切の責任を負いません。これは、たとえ、TEPがかかる損害の可能性を知らされていても同様とします。TEPは、本レポートの論旨と一致しない他の資料を発行している、または今後発行する可能性があります。

『サステナビリティ レポート2021』は、株式会社トヨタエンタプライズ(以下、TEP)が持続可能な社会の構築への貢献に向けて『SDGs宣言』後に行ってきた様々な活動をステークホルダーの皆様にお伝えすることを目的としています。

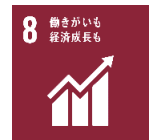
宣言1) 健康と安全の維持

自社の活動を通じて安全衛生・交通安全活動を行い、サプライヤーを含む働く仲間の健康・安全意識を高め、安全・安心・快適なサービスを提供し続けます。



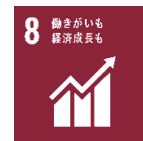
宣言2) プロ人材を増やす

必要な知識・技能・経験を持った人材の育成を推進し性別、国籍、障がいの有無等に関わらず、意欲的で多様な働き方ができる会社を目指します。



宣言3) 環境負荷の低減

調達から廃棄までの全ての過程において、環境負荷の軽減に努め、環境に関する提案やカイゼン活動を推進します。



2021年度は全従業員で取り組むSDGs活動として、SDGsの基本的な考え方やTEPが取り組む意義を全従業員で確認するため、社内報にて『できることを考えよう! できることから始めよう!』と題した特集記事の継続的な掲載や、全職場が『SDGsと普段の活動』を結び付けた目標を立てて取り組み、それら全ての活動を事例集として紹介するなど、全従業員一丸となって理解・浸透を図ってまいりました。

以下、その活動についてご報告させていただくとともに、2022年度以降の活動の方向性について記載しています。

発行日 2022年7月1日



社内報『TEPNEWS』 Vol.115号

■2021年度 SDGs活動事例集

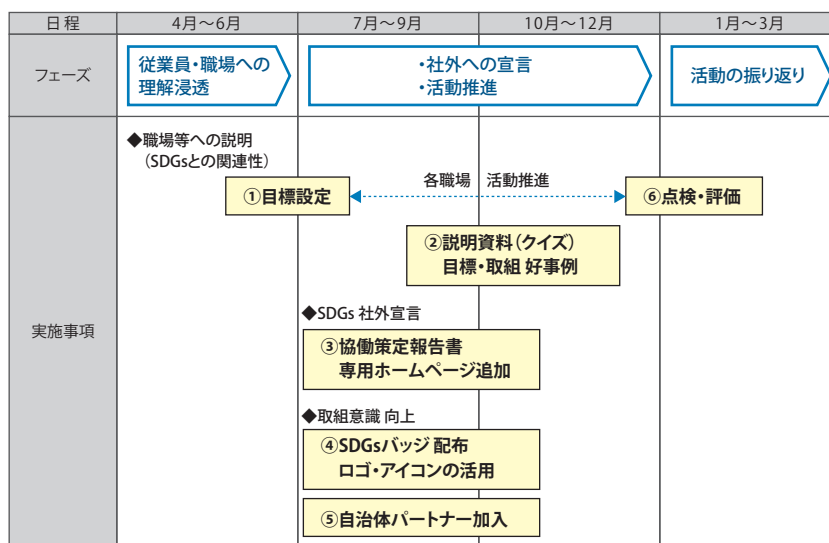
*各条件を絞り込むと、一致するSDGsに絞り込んだ事例集が閲覧できます。

区分	項目	評価	SDGs番号	SDGsサブテーマ	部署
社会	ESGサテライト	2	03	環境	事業本部
社会	カーボンフットプリント	3	09	気候変動	事業本部
社会	ペーパーレス	4	09	資源	事業本部
社会	安全衛生	4	03	健康と福祉	事業本部
社会	安全衛生	4	03	健康と福祉	事業本部
社会	安全衛生	4	03	健康と福祉	事業本部
社会	安全衛生	4	03	健康と福祉	事業本部
社会	安全衛生	4	03	健康と福祉	事業本部
社会	安全衛生	4	03	健康と福祉	事業本部
社会	安全衛生	4	03	健康と福祉	事業本部
社会	安全衛生	4	03	健康と福祉	事業本部

検索条件: 1382件 | 検索履歴 | 条件絞り込み

2021年度SDGs活動事例集

2021年度 取組スケジュール



SDGsの目標が2030年に達成されるよう、TEPが事業活動を通じた取組を推進していくにあたり、2021年度は『SDGsと普段の活動のつながり』に理解を深め、全従業員がSDGsを身近に感じられるよう、既存の取組を中心とした活動を推進してきました。

① 目標設定

『なぜSDGsに取り組むのか』を従業員に認知してもらうため、TEPがSDGsに取り組む理由や背景を掲載した資料を従業員に届け、各職場にて説明を実施。その後、職場にて資料を参考にしながら、従業員がより身近に感じられるようSDGsと普段の活動を結び付けた目標を設定。

② 説明資料(クイズ)、目標・取組好事例

当社オリジナルの『SDGs説明資料(みんなで取り組むSDGs)』や『SDGsクイズ』などを作成し、職場のコミュニケーションを通して活動を推進。

また、①で設定した活動目標の中から好事例を社内共有することで、各職場の活動を盛り上げ・促進。

③ 協働策定報告書、専用ホームページ追加

会社ホームページにサステナビリティのページを追加し、TEPの姿勢を社外に向けて発信。

またページ内に、社外有識者監修のもと、TEPの企業理念・方針とSDGsの位置づけやSDGsに貢献する取組などを取り纏めた『株式会社トヨタエンタプライズ「SDGs宣言」協働策定報告書2021』を掲載。

④ SDGsバッジ配布、ロゴ・アイコンの活用

TEPの取組や姿勢を広く知っていただくために、外出時にはSDGsバッジの着用推奨。

国連グローバル・コミュニケーション局が定めるガイドラインに則り、SDGsのロゴ、アイコンを積極活用。

⑤ 自治体パートナー加入

SDGsに関する新たな仲間づくりや情報交換の一環として、名古屋市(名古屋市SDGs推進プラットフォーム)と豊田市(とよたSDGsパートナー)において自治体が取組むパートナー制度に加入。

⑥ 点検・評価

①で設定した活動目標に対する達成率は全体で100%以上となり、また各職場へのアンケート結果でもSDGs宣言の内容を理解し活動できていると多数の職場が回答。

TEP「SDGs宣言1」に関連する取組（健康と安全の維持）



【安全衛生】

トヨタ産業技術記念館で、施設の運営・管理を行っている職場では、重点的に取り組む安全行動などから職場オリジナルの標語を全従業員で考え、事務所に毎月掲示することで、危険因子をなくすための考動を促進しています。

2021年 8月 栄生事業所
今月の安全目標

荷物運搬時は手提げ袋を活用するなど、両手がふさがらないように転倒防止を心がけよう

TEP「SDGs宣言2」に関連する取組（プロ人材を増やす）



【資格・技能等習得】

TEPでは、ビルメンテナンス（清掃）で受け入れている技能実習生に対し、ビルクリーニング技能検定合格を目標に講習を開催し、2021年度は受講者全員が合格するなど、技術的・職業的スキルを修得する機会の提供を進めています。

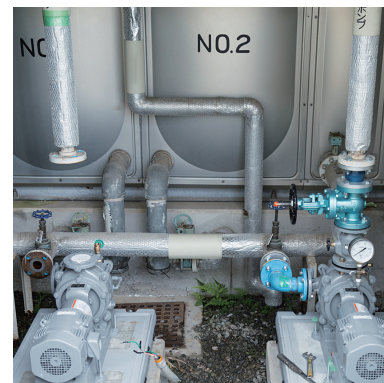


TEP「SDGs宣言3」に関連する取組（環境負荷の低減）



【カーボンニュートラル】

お客様からの委託業務でTEPが施設管理を行っている工場施設において、工場が発生する排水を処理して河川放流しています。その排水の際に廃液の濃度が高い場合には、夜間に処理済みの河川に流す予定の放流水で濃度を薄めた上で排水処理をしていました。その処理を日中に変更することでポンプの稼働時間を下げ、それに伴う使用電力量も低減されたことにより、CO²排出量を1.5t（スギ約100本分）削減しました。これら地道な活動の積み重ねによりCO²削減・環境負荷の低減の促進を図っています。



【フードロス】

トヨタホーム株式会社の春日井事業所にてTEPが運営する食堂では、食品廃棄ロスを抑えるために、食品サンプルを『調理した実物』から『デジタルサイネージ』へ変更や、お客様の状況を見ながら追加調理をする等の取組により、食べ残しの量を前年比13%削減しました。食品の損失を減少させることで持続可能な生産消費形態に貢献しています。



その他のTEPが貢献するSDGsゴール



【地域活動】

TEPが施設管理を行っているトヨタ博物館(トヨタ自動車株式会社)では、障がい者施設などで作られている商品(クッキー・木製の知育玩具など)をミュージアムショップで販売し、好評を博しております。これらの活動を通じて、地域で暮らす人々の社会的・経済的な機会均等の促進に貢献しています。



サプレのクルマ博物館



【安全衛生】

トヨタ産業技術記念館で、施設の運営・管理を行っている職場では、全従業員による防災備蓄品の設置箇所確認や賞味期限の近い防災備蓄品の試食を実施することで、自然災害などへの適応力強化に努めています。



コンプライアンスの取組

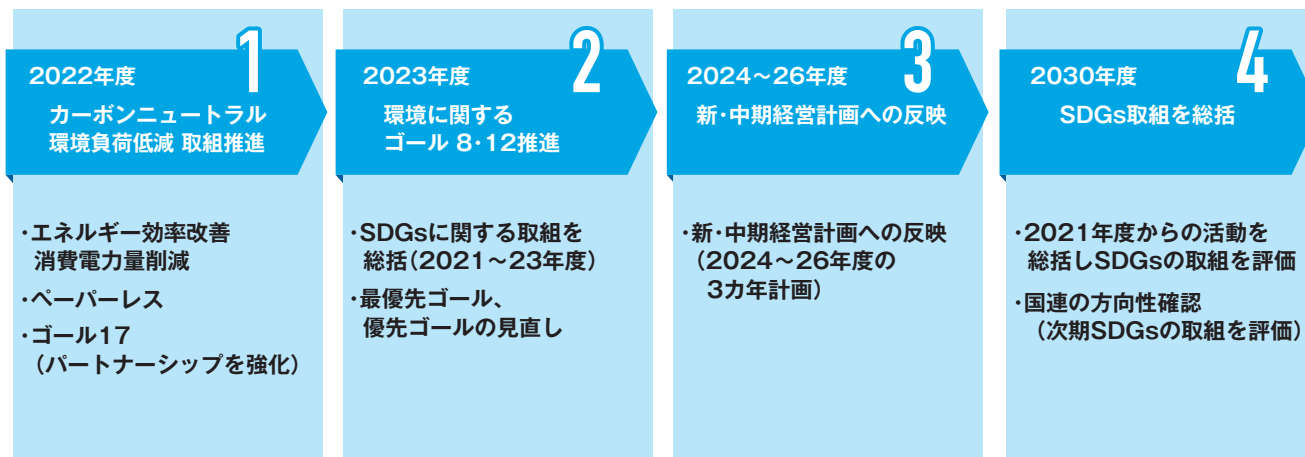
【資格・技能等習得】

TEPではファシリティ事業に関する有資格者が長年培った知識・経験を持って業務に従事しています。脱炭素社会に対応するためお客様からの工事・設備関連の受注拡大が見込まれる中、現場におけるOJT(オンザジョブトレーニング)※を通してスキル向上と資格取得の奨励を行い、技術者の育成に努めています。また年々変化する法令については、専門部署が迅速な情報収集とコンプライアンスの確保に向けた社内管理を徹底し、お客様からの信頼獲得に努めています。

※On-the-Job Training. 企業内の事業活動の中で行われる実務を通じた訓練。



2022年度以降の取組スケジュール



- ① 2022年度は、会社方針・各本部(各事業)方針にSDGsを関連付けることで各職場での活動を更に加速。エネルギー効率改善や消費電力量削減、ペーパーレスに関する取組を重点的に注力することでカーボンニュートラルや環境負荷低減に貢献。更に、ゴール17(パートナーシップを強化)の取組として、SDGs目標の実現に向けた仲間づくりを通じてTEPとしてもっとやれることがないかを検討。
- ② 2023年度は、前年度の取組をベースに環境に関するゴール8・12を中心に取り組む(予定)。また、SDGsに関する取組を総括した上で、最優先ゴール・優先ゴールの見直し。(予定)
- ③ 2024年度以降は、2023年度の最優先ゴール・優先ゴールの見直し結果を新・中期経営計画(2024～26年度の3カ年計画)へ反映。(予定)
- ④ 2030年度には、国連が定めるSDGsゴール達成の期限を迎えるためTEPの2021年度からの活動を総括するとともに国連の方向性を確認した上で、以降の取組の在り方を検討。(予定)

持続可能な開発目標(SDGs)は『サステナビリティ』が重要なテーマであり、TEPが2021年7月に『SDGs宣言』をされた後に取り組みられてきた活動は労働者の人権、また気候変動、フードロスといわれるような社会課題に取り組む企業として活動に励んでいることが理解できます。

SDGsを経営に取り入れられるように、経済・社会・環境の側面から事業活動への影響度を分析し事業と一体化して取組を推進できるように努力する活動が察せられた内容でした。社会の多様な価値観、文化、さらには未来への時間軸などが重層的に関わっていると感じられ、全従業員の理解浸透や全社一丸となって取り組む姿勢と力強さを感じます。

SDGsの観点からTEPには多くを期待しています。ゴール12の『つくる責任』『つかう責任』の観点から、国際社会でもトピックとして取り上げられる『カーボンニュートラル』『フードロス』への取組は非常に重要であり、より推進をしていただきたいと考えています。また、この取組はゴール13の『気候変動に具体的な対策』に必ずや通じる取組であり、重要性を増しています。

他方でTEPの事業は、ビルメンテナンス、派遣、造園・緑地事業と多岐にわたっています。それらの事業においては、外国人の方も従事されていることもあり、多様な属性(性別、年齢、国籍など)や価値・発想を採り入れることで環境変化に対応し、新たな価値創造により他社との差別化を図り、経営の力とする『ダイバーシティ&インクルージョン』の考え方を浸透させることも出来ると考えています。

また、日本社会のみならず国際社会で『ダイバーシティ&インクルージョン』を掲げ、時代の変化や多様化する顧客ニーズに迅速かつ柔軟に対応することが求められています。女性活躍にフォーカスした取組を進められていく中で、TEP『SDGs宣言』の『宣言1』と『宣言2』に関連する『人材育成』を大切にすることが出来る企業だと思えます。一人ひとりがプロフェッショナルとして個性・能力を発揮され、全従業員のパワーを結集して、組織としてさらに発展されることを期待しています。

最後にSDGs宣言後にSDGsの推進を進められている、プロジェクトメンバーの方々がいかにSDGsの重要性を理解し自社内に浸透させ、また、事業との両輪でSDGsの取組を推進させるかに知恵を絞り、努力をされていることがわかる1年間の活動結果だと思えます。引き続きこの取組の推進と事業との一体化に取り組まれ、未来を切り開く企業となっていくことに期待をいたします。

和田征樹(一般社団法人ザ・グローバル・アライアンス・フォー・サステイナブル・サプライチェーン 代表理事)

